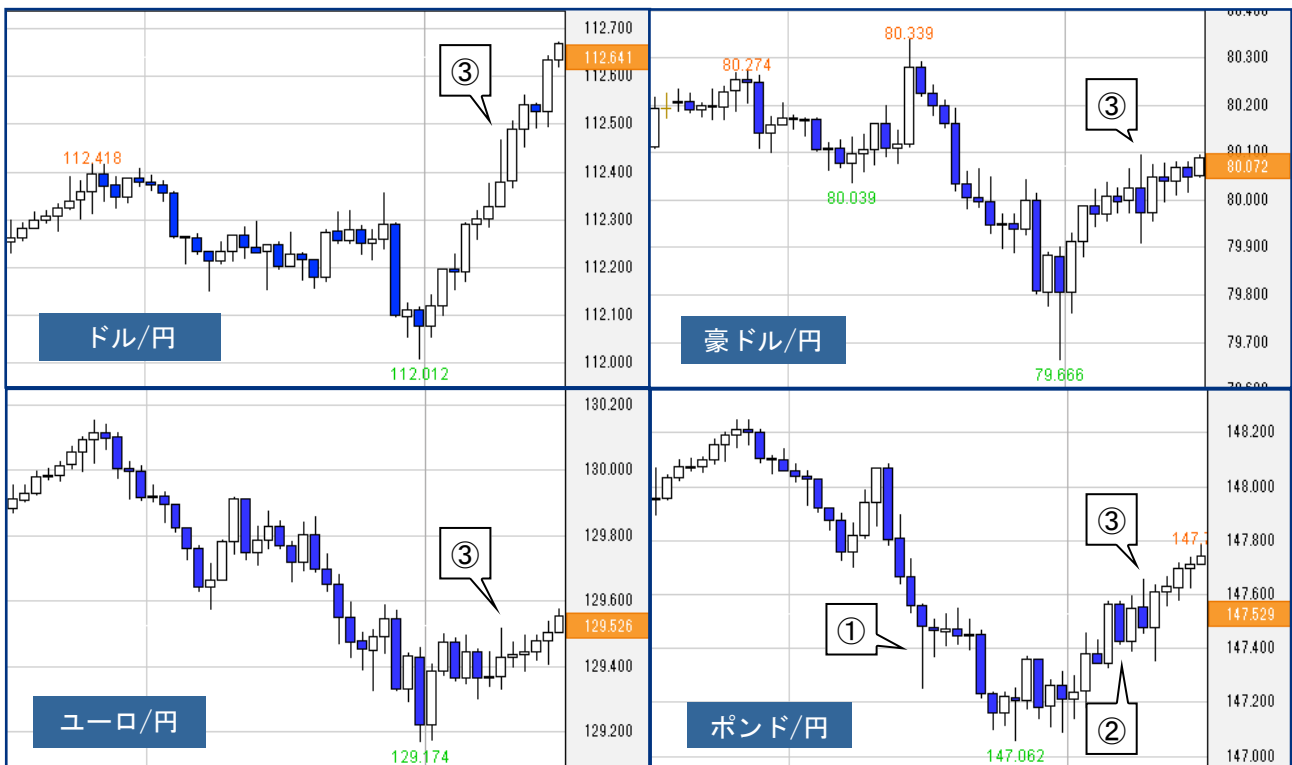


10月18日(木曜日)  
ドル/円・豪ドル/円  
ユーロ/円・ポンド/円

## 長期金利と株と為替の関係性を注視

### 17日(水)の為替相場



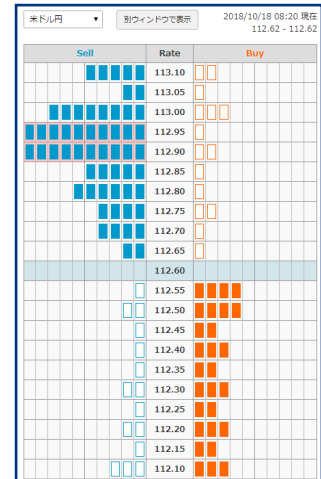
期間 17日(水)午前6時10分~18日(木)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所:外為どっとコム

- ① 英9月消費者物価指数は前月比+0.1%、前年比+2.4%と、予想(+0.3%、+2.6%)を下回る伸びにとどまった。一方、英9月生産者物価指数は前月比+0.4%、前年比+3.1%と、予想(+0.2%、+2.9%)を上回った。
- ② 英国の欧州連合(EU)離脱=Brexitを巡るEU側の首席交渉官であるバルニエ氏は「Brexitについての合意はまだない」「我々にはさらに時間が必要」などと述べた。なお、EU首脳会議はBrexit交渉の進展が不十分だとして、最終決着のため11月に開催を想定していた臨時首脳会議の計画をいったん取り下げることで一致した。
- ③ 「数人のメンバーは政策が当面やや抑制的になる必要があるとの見解を示した」「他の幾人かのメンバーは、長期的な水準を上回るまで利上げが必要と判断した」「2人のメンバーは、景気過熱やインフレ高進の明確な兆候が見られないとして抑制的な政策の採用に反対を表明」などとする米連邦公開市場委員会(FOMC)議事録が公表された。市場はこれをタカ派寄りとして受け止めて、米長期金利の上昇とともにドル買いが強まった。ただ、金利の上昇やドル高を嫌気して米国株が弱含んだため、クロス円は伸び悩んだ。

17日(水)の株・債券・商品市場

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
22841.12 △291.88	5939.095 △69.214	2561.614 △15.284	7054.60 ▼4.80	11715.03 ▼61.52
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
25706.68 ▼91.74	0.1480% ±0.0000	2.702% ▼0.010	1.575% ▼0.034	0.461% ▼0.029
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.8885% △0.0230	3.2050% △0.0417	69.75 ▼2.17	1227.40 ▼3.60	

外為注文情報(ドル/円)



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	112.000-113.300	128.900-130.200	79.600-80.700	146.800-148.300

【ドル/円】

昨日のドル/円は、米連邦公開市場委員会(FOMC)議事録の発表後に112.60円台へと続伸。FOMC議事録では、数人のメンバーが長期的な水準(中立水準≒3.0%)を上回るまで利上げが必要と判断していた事が明らかとなった。このまま、112.80-113.00円前後に集まる主要抵抗線を突破できればドル高・円安トレンド再開の見方が強まり、上昇が加速しそうだ。ただ、FOMC議事録がタカ派的だったとの見方から米10年債利回りが3.20%台へと上昇しており、株式市場への悪影響が気になる水準に戻って来た。当面は、長期金利と株価と為替の関係性を改めてマークしておく必要があるだろう。なお、米10年債利回りの直近ピークは9日に付けた3.26%前後で、翌10日にはNYダウ平均が800ドル超値下がりし、翌11日にはドル/円が111円台に差し込んで円高が進んだ経緯がある。

執筆者: 神田

本日および明朝の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示

日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
10/18(木)	09:30	◎	(豪)9月失業率	5.3%	5.3%
	09:30	◎	(豪)9月新規雇用者数	+4.46万人	+1.50万人
	09:30	○	(日)黒田日銀総裁、挨拶	—	—
	15:00		(独)9月卸売物価指数(前月比)	+0.3%	—
	17:00		(ユーロ圏)ノボトニー・オーストリア連銀総裁、講演	—	—
	17:30	○	(英)9月小売売上高(前月比)	+0.3%	-0.4%
	21:30	○	(米)新規失業保険申請件数	21.4万件	21.2万件
	21:30		(米)10月フィラデルフィア連銀製造業景気指数	22.9	20.0
	22:05		(米)ブラード・セントルイス連銀総裁、講演	—	—
	23:00		(米)9月景気先行指標総合指数(前月比)	+0.4%	+0.5%
	25:15		(米)クオールズFRB副議長、講演	—	—
	—	○	EU首脳会議(17日~)	—	—
10/19(金)	08:30		(日)9月消費者物価指数(生鮮食料品除く 前年比)	+0.9%	+1.0%
	11:00	◎	(中)7-9月期GDP(前年比)	+6.7%	+6.6%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。